

## 【南区】令和2年第3回区づくり推進横浜市議員会議 議事録

開催日時	令和2年9月15日(火) 午前11時～12時
場 所	ウェブ会議システムによるオンライン開催
出席者	<p>【座 長】遊佐大輔議員</p> <p>【議 員：3名】仁田昌寿議員、渋谷健議員、荒木由美子議員</p> <p>【南 区：24名】松山弘子区長、富井孝副区長、野崎直彦福祉保健センター長、永木宏一郎福祉保健センター担当部長、角野智史土木事務所長、小出健消防署長（災害対策担当部長）ほか関係職員</p>
議 題	<p>(1) 令和元年度 南区個性ある区づくり推進費の決算について</p> <p>(2) 令和2年度 南区個性ある区づくり推進費の執行状況及び事業見直しについて</p> <p>(3) 令和3年度 南区個性ある区づくり推進費の編成に向けての考え方について</p>
発 言 の 旨	<p>議題(1)令和元年度決算及び議題(2)令和2年度執行状況等について</p> <p>【荒木議員】 決算のところは何点か確認します。 4ページの自助共助支援事業で地震、土砂災害等の被害想定区域などをまとめた防災マップを作成して、全戸配布したことはよかったですと思います。ただ、これについては配っただけでは全然機能しないと思います。現在、コロナ禍で、地域の防災拠点での避難訓練等は、だいぶ自粛の影響がでているのですが、訓練をやるときにこの防災マップをみんなで確認をするというようなアドバイスは、考えているのでしょうか。</p> <p>【森田総務課長】 防災マップについては、まず全戸配布し、その後は、今年はなかなかできていませんが、ご近所講座や防災訓練などのときに、地域の皆様で見ていただくといったことを、今後も行っていきたいと思っています。</p> <p>【荒木議員】 配って終わりではないので、このマップを利用して、どう自分たちの身を守るのか、ということは引き続き、強調していただきたいと思います。 次に、6ページの特設健診受診率向上事業で、丁寧に直接電話をしていただいたことで、特定健診の受診が増えたのか、効果、実績をお聞かせください。</p>

発 言 の 旨

【金澤保険年金課長】

電話については、つながった方の人数が1,171名で、その後確認したところ、通話後に受診をしていただいた方は、600名ほどいらっしゃいました。電話をかけた5割くらいが受診していただいているということで、この分が仮に受診していなかったとすると、かなり受診率が落ちてしまいます。直接電話した効果は、かなりあると認識しています。

【荒木議員】

こまめな努力で受診する方が増えたのは、成果としてもものすごく大きいと思います。コロナ禍ですから、電話するのも大変だと思いますが、留守電になっていても、そのことを伝えれば、意識も違ってくると思いますので、引き続きのご努力をお願いします。

今度は14ページ、子育て情報提供事業の、地域の子育ての支援情報や乳幼児の健康づくりに関する情報を健診の待合室で提供するDVD作製についてですが、何分くらいのもので、見ていただいた方たちの感想などはどうだったのでしょうか。

【戸矢崎こども家庭支援課長】

地域の子育て情報DVDについては、だいたい5分弱のものです。内容は、親と子のつどいの広場区内4か所と、はぐはぐの樹のスタッフの状況と、それぞれの施設の場所などが分かるようなものになっています。また、映像は健診会場だけではなく、区役所の中でもたびたび流しています。直接いただいた意見ではないのですが、映像を親子で楽しく見ていらっしゃる様子を拝見しています。

その他に、乳幼児健診の待合室スペースで流している映像として、1歳6か月健診と3歳児健診の内容のものがございます。こちらは10分くらいで、食事のとり方、生活のリズム、歯科の健診内容、ブラッシングなども含めて、実際の子供さんの映像を流しています。

特に、1歳6か月のときには、歯科の健診の内容がなかなかイメージしづらいので、その映像を見ていただいております、好評をいただいております。

【荒木議員】

今、両親教室など感染のこともあり、参加を自粛する傾向で、人数を減らしているということもあります。そこで、区が出産後のことについて、いろいろ取り組んでいるということ、受診できない方たちにもアナウンスするため、このDVDを貸し出すことはできないものなのでしょうか。

【戸矢崎こども家庭支援課長】

このDVDは、健診の内容に沿っているので、一般的な内容として扱えるかどうかは、検討の必要性があると思います。ただ、南区だけではなく横浜市全体で、子育ての様々な情報を発信しようという検討はしています。

【荒木議員】

初めてのお子さんのときには、歯磨きするのも大変ですし、離乳食もどいうものなのか等、いろいろ心配になると思いますので、全市的なもの

も作ればよいし、南区でもはぐはぐの樹さんなど、とても上手に取り組んでいらっしゃるので、このようなDVDがあると非常に分かりやすいので、ぜひ検討してほしいと思います。

それから、今年の自主企画事業で、27 ページのみなみ減災推進事業における共助のところで、地域の支援者に向けた活動事例、個人情報保護研修用DVDとありますが、内容として、どのくらいの時間のもので、どういう方たち向けで、どう使って取り組んでいくのでしょうか。

**【森田総務課長】**

こちらについては、従来夏に説明会を行っておりまして、その際に個人情報保護研修を行ってまいりました。ただ、今年度につきましては、コロナの関係もありまして、なかなか集まってしまうということもできませんので、同様の内容のDVDを作成しお配りして、研修として取り組んでいただくものです。

**【荒木議員】**

DVDは、どのくらい作成されたのですか。

**【森田総務課長】**

協定を結んでいただいている自治会町内会が160箇所ですので、それにプラスした数を作成しています。

**【荒木議員】**

最後に、ごみの収集について、大変な状況下での収集、平戸桜木道路沿いの井土ヶ谷周辺におけるカラス対策など、いろいろと取り組まれています。

今でも家でリモート等を継続している方も多いと思うので、ごみの量自体は減っていないと思いますが、南事務所の取組として、収集業務に携わる職員の感染を防ぐということに、どう対応されているのでしょうか。

**【須賀資源化推進担当課長】**

現在、ごみ量については、コロナ以前に戻ったかという点、まだそこまではありませんが、一時期よりはだいぶ落ち着いてきたと思います。ただ、目標としている数値につきましては、今年度は厳しいという状況でございます。職員も、感染予防として、手洗いとうがいは徹底しています。また、区民の方に向けては、マスクは袋に入れて出していただく、ゴミ袋の空気は抜いて出していただくよう、PRしています。

**【荒木議員】**

一時期、路上にマスクが散乱していたり、街路樹に引っ掛かっているのを見かけましたが、だいぶ減ったようには思います。しかし、まだまだコロナが終息しているわけではないので、特に職員の方たちも、マスクしながら作業するのも大変で、作業中ははずせないし、口元だけでなく目もカバーしたいぐらいだと思います。資源循環局の職員の方が感染したという話を聞いて、その点のリスクを避けるためには、引き続き努力をしていただかなければならないと思うのですが、毎日の被服の着替えは当然として

発言の  
要旨

も、消毒液等は足りているのでしょうか。

**【須賀資源化推進担当課長】**

マスクは、購入するのめだいぶ楽になってきましたし、局からも少し配布されています。ただ、使い捨てマスクにつきましては、夏場の現場の声として、午前中に汗でびしょりになってしまっていて、もたないという意見がありました。マスクは極力着ける方向ではいますが、市民の方と接触する等の場合には必ず着用するように指示を出しております。また、帰って来てからの消毒、手洗い等は、徹底しております。

**【荒木議員】**

とにかく、最前線で働いてらっしゃる方が感染しないよう、リスクも高いと思いますが、感染しない努力は引き続きしていただきたいと思います。

\*\*\*\*\*

**【仁田議員】**

令和元年から令和2年にかけての推移なども含めて、何点か伺いたいと思います。

始めに、4ページの減災のみなみ減災推進事業について、前向きな意味でよいと思いますが、差引105万円は、他の事業と比しても、差額が大きいと思います。何か理由があるのでしょうか。

**【森田総務課長】**

みなみ減災推進事業につきまして、予算より超えている理由としては、防災マップを全戸配布したことと、避難場所の備品を充実させたことがあります。逆に、みなみ防災ガイドの冊子を作りましたが、そちらは予算より低い金額で実施したため、プラスマイナスで、105万円オーバーしました。

**【仁田議員】**

いずれにしても前向きに捉えて進めていくことが必要だと思いますので、今後もよろしくお願いします。

続いて、先ほどご説明はありませんでした。9ページの認知症早期対応・見守り支援事業の中で、(2)認知症サポート医との連携について、内容の文言が令和2年の36ページと同じなので、具体的な取組を伺いたいと思います。体制作りは、すでに令和2年の段階でも行われていて、それから早期対応の取組について検討・実施したということが書かれていますが、具体的に何を検討して、継続しているものなのか、また、実施は具体的にどういうものなのか、ご紹介いただきたいと思います。

**【小栗高齢・障害支援課長】**

こちらの事業については、平成28年度に認知症サポート医を中心とした認知症対策委員会というものが医師会に設置されました。医師会の皆様には、そちらで検討を進めていただいているのですが、区の職員につきま

発言の旨  
要

しても、医師会と合同で拡大会議を継続して実施している状況でございます。例年同じ文言になっているのは、医師会の皆様と継続して検討を進めていますので、変化なく記載しています。この会議では、南区の認知症の実績報告や新制度、医療機関に関する情報共有等を行っていただいております。今年度は中止になりました南なんデーでの啓発の取組についても、先生方と話し合いを進めさせていただいていたところでございます。

**【仁田議員】**

この対策委員会、また、職員の皆様が加わる拡大会議の中で、認知症サポート医さんたちとさらに連携を取りながら、具体的な取組が進んでいるのか、少し懸念しています。とりわけ65歳以上の方とされていますが、これからますます認知症に罹られる方が増えることが、社会的な課題にもなるので、実質的な成果がさらにイメージできるような取組をぜひお願いをしたいと、要望しておきたいと思っております。

続きまして、10ページの、南区桜まつり補助事業の中で、来場者の増加に伴い仮設トイレの増設、水洗化を実施したとありますが、この水洗化の内容を教えてくださいませんか。

**【姫浦地域振興課長】**

大岡川沿いに仮設のトイレを設置しますが、今まで水洗式でなかったものを水洗式にしたものです。

**【仁田議員】**

このトイレは、あくまでも仮設のトイレだから、桜まつりのときに設置されるトイレということですよ。

**【姫浦地域振興課長】**

桜まつりにおいて、ぼんぼりを立てたり、ライトアップしている期間の仮設となります。

**【仁田議員】**

この仮設トイレが、地域の防災拠点や浸水害時の避難など、災害対策に活用できないものかと思ひ、伺いました。

最後に13ページですが、地域福祉保健計画の推進については令和元年度でも取り組んでいただき、34ページには、令和2年度の地域福祉保健計画推進事業の記載があります。いずれにしても、令和3年度からの計画期間である地域福祉保健計画を策定するため、「令和3年10月に向けて計画の策定を進める」とあります。ただ、その概要版を見ると、使われている挿絵の内容のほとんどが、人が密集しているものです。

人が集まって地域福祉保健計画を進めていることなどからすると、現在のコロナ禍、またウィズコロナ、さらにはアフターコロナというものを、この地域福祉保健計画の中に今後反映されていくのかどうか、以前に戻ったかたちでの地域福祉保健計画のイメージになるのか、考え方はどうでしょうか。

**【永峯福祉保健課長】**

発言の旨

発言の  
要旨

地域福祉保健計画については、今年2月頃から4か月ほど策定の作業を中止しており、現在は区の全体計画について策定を再開して、見直しをしているところです。

先生に先ほどアドバイスをいただいたように、コロナ禍における地域でのつながりの作り方や活動の内容などが大きく変わってきています。

今後、地区別計画を地域の皆様と、話し合いをしながら策定していくにあたって、こういったことの悩みですとか、今後こうしていきたいなどの意見を共有しながら、新しい生活様式にあった計画を作っていきたいと考えています。

【仁田議員】

今、まさに計画を策定している段階ですから、策定のプロセス、どのように地域の皆様と一緒に作っていくのか、その手法やその運営の仕方をどうするかという問題があります。また、コロナ禍、アフターコロナを踏まえた計画の基本的な考え方をどのように変えるのか、また付加するのか、そういう視点をどのように盛り込んでいくのか、いかないのかという検討を、今の段階で計画していくのは、とても難しいことだと思います。

だから、令和3年10月に向けてという目標も、多少柔軟に考えてもよいのではないと思うぐらい、今社会的に大きな変化が起きているのではないかと思います。

そこで、計画策定の目標時期の柔軟性に関してはどうお考えですか。

【永峯福祉保健課長】

計画期間も令和3年度からとなっておりますので、3年度中には策定していくことになろうとは思いますが、ただ、今後の感染状況なども見ながら、また地域の方々と一緒に作っていくものだと思いますので、地域の方々と話し合いをして、情報を共有しながら、先生にアドバイスいただきましたように、令和3年10月を目標としていますが、状況に応じて策定期間については、考えてまいりたいと思います。

【仁田議員】

先ほど話題になりましたICTの活用などによるリモートオンラインでの検討などの手法も交え、できるだけ、新しい生活様式を踏まえた話し合いや皆様との会議の在り方も含めて考えていかないと、計画策定に支障をきたしますし、また今後、活用できる計画になるかどうかとも思いますので、丁寧に進めていただければと思いますので、よろしく申し上げます。以上です。

\*\*\*\*\*  
議題（3）令和3年度の予算編成に向けての考え方について

【荒木議員】

来年度の重点項目は、変わらなくてよいと思いますが、先ほどの区市議員団会議のときにもあったように、南区の個店、商店の皆様が疲弊しているのは間違いなくて、この先もそれが続くと思っています。また、中小事業者の皆様も同じだと思います。区独自でカバーするのは難しいにして

も、先ほど遊佐議員からもあったように、経済局などと区役所の地域振興課も連携をして、まずは実態をしっかりと聞きし、なんとかカバーするような方策も考えていただきたいと思います。これは区でないとできないことだと思いますので、ぜひ支援をお願いしたいと思います。これは、要望ですからお答えいただかなくて結構です。

それからもう一点要望したいこととして、新型コロナウイルスの感染症対策に今年度の自主企画事業の予算を使っていただくのはすごくよいのですが、地区センターや男女共同参画センター横浜南などで、「会議室を利用する際に体温を測定して入ってください」、「消毒してください」と厳密にされているのに、利用者の方が消毒液や体温計を持ってくような仕組みになっていると聞いています。事業見直しの中には消毒液、非接触体温計等の購入との記載もあるので、余裕があるならば、区の予算で購入して、区民利用施設等へ回していただくことを検討いただけないでしょうか。

**【姫浦地域振興課長】**

指定管理者による運営になりまして、利用者の方々にもご理解いただいていると思っています。

**【荒木議員】**

区から消毒液等を持っていくことや、貸し出すことはできないのですか。今、利用者さんが自分たちで全部負担しているようですが。

**【姫浦地域振興課長】**

先生のご意見を参考に、今後検討したいと思います。

**【荒木議員】**

利用料負担が半分で大変なこともあるので、できれば「施設に非接触型体温計があるから、こちらで測ってください」としてもらえれば、利用者の方も負担が減ると思います。今の状況は続くと思いますから、もし区の予算を活用できるようであれば、地区センター等の区民利用施設に活用していただければありがたいと思います。

\*\*\*\*\*

**【永木センター担当部長】**

先ほど、荒木先生のご質問の中で、27ページのDVD作製の件で説明が足りていなかったと思いますので、補足します。総務課長がお答えさせていただいたとおり、作製数は160プラスアルファですが、正確には200枚発注しています。内容に関しては、20分程度の個人情報保護に関する研修でございまして、全て配布をさせていただきます。先ほど、はっきりお答えできていなかった部分があったので、付け加えさせていただきます。